

市政の課題にチャレンジ

自転車運転マナー向上は急務



横浜市議員 えいた やまうら英太

《略歴》

◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グロービス経営大学院修了、㈱ニトリ◆横浜市認定保育園園長(保育士)◆衆議院議員秘書◆2015年横浜市会議員初当選。現在一期目

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
☎045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

自転車は身近で楽しい乗り物です。健康づくりにも役立つなど、多くのメリットがあります。

しかし、交通ルールを無視した乱暴な運転は、相手に大きな障害を負わせたり、命を奪ったりする悲惨な事故につながる恐れがあります。

過去、加害者に約9500万円の高額賠償が命じられたケースも生じているように、万一の際の被害者支援の視点から、セーフティネットの構築をする必要があります。実際、市にはルールを守らない自転車利用者へ

の対策を求める声が寄せられています。市は自転車運転者に交通安全啓発を進めています。十分ではありません。今後、学校や地域、行政が一体となり、マナーを学んでもらう機会をさらに作っていくべきです。

セーフティネットと

して、自転車保険は極めて重要です。しかし、何に入ればいいのか分かりにくいとの声のほか、価格に割高感を持つ方も多く加入が進んでいません。市交通安全協会の協力を得て始まっている「ハマの自転車保険」の周知・認知をさらに図っていく必要があります。

安全でルールに則った自転車運転が成される社会の構築を目指して、私は市と共に効果的な周知啓発を進めて行きます。